

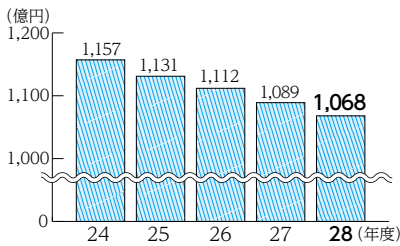
会計別

※資本的収支での不足額(△で表示)については、収益的収支での利益や積立金などで補いました。
※表示単位未満を四捨五入した関係で、合計額と合わない箇所があります。

| 会計名 | 歳入 | 歳出 | 差引額 | 会計名 | 歳入 | 歳出 | 差引額 | |
|--------------------|---------------|--------------|------------|--------------|--------------|---------------|-------------|------------|
| 一般会計 | 1,962億8,101万円 | 1,929億 288万円 | 33億7,813万円 | 土地区画整理事業(※6) | 65億3,993万円 | 62億9,819万円 | 2億4,175万円 | |
| 国民健康保険 | 583億9,017万円 | 583億7,749万円 | 1,267万円 | 育英事業 | 2億1,591万円 | 2億 681万円 | 910万円 | |
| 介護保険 | 290億6,421万円 | 286億 734万円 | 4億5,686万円 | 特別会計合計 | 1,149億 986万円 | 1,139億8,686万円 | 9億2,299万円 | |
| 母子父子寡婦福祉 資金貸付事業 | 1億9,188万円 | 1億4,587万円 | 4,600万円 | 水道事業 | 収益的収支 | 116億 545万円 | 94億7,722万円 | 21億2,823万円 |
| 後期高齢者医療 | 48億6,485万円 | 48億5,863万円 | 622万円 | 資本的収支 | 5億3,748万円 | 42億4,944万円 | △37億1,196万円 | |
| 生活排水処理事業 | 16億 439万円 | 16億 439万円 | 0万円 | 下水道事業 | 収益的収支 | 140億6,459万円 | 127億8,297万円 | 12億8,162万円 |
| 競輪 | 136億9,347万円 | 135億4,558万円 | 1億4,789万円 | 資本的収支 | 32億6,950万円 | 80億1,081万円 | △47億4,130万円 | |
| 駐車場 | 1億4,625万円 | 1億4,376万円 | 250万円 | 中央卸売 市場事業 | 収益的収支 | 7億1,801万円 | 7億1,542万円 | 260万円 |
| 都市開発資金事業 | 1億9,880万円 | 1億9,880万円 | 0万円 | 資本的収支 | 5,084万円 | 1億1,290万円 | △6,206万円 | |
| | | | | 企業会計合計 | 302億4,587万円 | 353億4,874万円 | △51億 287万円 | |

市債残高

市債残高の推移 (一般会計)



Point!

市債残高は**1,068**億円に**減少**
(前年度比**21**億円減)

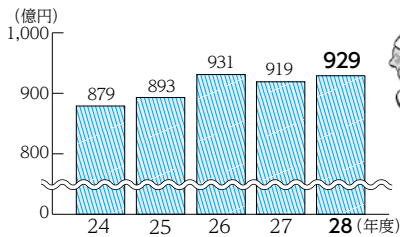


■市債とは 道路や学校などの施設整備を行うために資金を借り入れるものです。整備された道路や施設は、次の世代の人にも利用されるため、その返済を長期間に分割して行うことで、世代間負担の公平性を確保しています。

市民1人当たり**20万5,000**円(前年度比**4,000**円減)だよ!

市税収入

市税収入の推移



Point!

市税収入は**929**億円に**増加**
(前年度比**10**億円増)



市税収入は企業収益や雇用環境の改善などによる所得の増加に伴い、増加傾向にあります。

平成27年度は税制改正に伴う法人市民税の税率引き下げなどにより、一時的に減少しましたが、平成28年度は929億円となっています。

中期財政計画

収支見通し (一般会計)

| 区分 | | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | 平均 伸び率 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 歳入 | 市税 | 937 | 926 | 944 | 947 | 935 | 954 | 0.4% |
| | その他 | 1,078 | 1,189 | 1,162 | 1,089 | 1,070 | 1,080 | 0.0% |
| | 合計 | 2,015 | 2,115 | 2,106 | 2,036 | 2,005 | 2,034 | 0.2% |
| 歳出 | 消費的経費 | 1,739 | 1,765 | 1,780 | 1,764 | 1,754 | 1,769 | 0.3% |
| | 投資的経費 | 276 | 350 | 326 | 272 | 251 | 265 | △0.8% |
| | 合計 | 2,015 | 2,115 | 2,106 | 2,036 | 2,005 | 2,034 | 0.2% |

財政指標の見通し

| | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | 目標 |
|-------------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 経常収支比率(※7) | 90.9 | 92.1 | 92.7 | 90.1 | 88.9 | 89.6 | 80%台 |
| 公債費負担比率(※8) | 13.4 | 13.0 | 13.1 | 12.3 | 11.8 | 12.5 | 15%以内 |

■今後5年間を見通した計画を立てています 市では、将来の歳入と歳出の見通しから、財政運営上の課題を明らかにし、財政の健全性と安定性を確保するために、中期財政計画を毎年、策定しています。

■今後の収支の見込み

▽歳入 市税収入が景気の回復に伴い緩やかに増加する見込み。

▽歳出 扶助費などの社会保障関係経費の増加により消費的経費が増加するとともに、「未来への投資」につながる複数の大型建設事業を着実に実施していくため、一時的に投資的経費も増加する見込み。

■計画に基づいて健全な財政運営に努めます そのため、市税などの収納対策の強化や行財政改革を図るとともに、市債や基金を活用し、今後のまちづくりや市民サービスの質の向上に的確に対応していくものとなりました。

計画期間中において、財政指標は、おおむね目標の範囲内で推移する見込みですので、計画に基づき、健全な財政運営に努めていきます。

※6土地区画整理事業は鶴田第2、宇大東南部第1・第2、岡本駅西土地区画整理事業の合計です。※7経常収支比率 財政の弾力性を示す指標。市税などの一般財源のうち、人件費、扶助費、公債費などに使われる一般財源の割合。※8公債費負担比率 財政の健全性を示す指標。一般財源に占める公債費(市債の返済)の割合。

◎この特集についての問い合わせは、財政課☎(632)2064へ。